

2018年5月-164号

「月刊プロナー」

No. 164

5月号

2018年5月31日

ブロン電機㈱編集局（松原）

今年4月から5月にかけて日本列島は、例年よりはるかに上回る気温に襲われています。多分、**この夏は猛暑**に違いありませんね。

例年この時期にバラを咲かせているのですが、今年の開花は昨年より10日～15日も早くなり、また咲いている期間も短くて、ゆっくり鑑賞することは出来ませんでした。

今月は社員皆さんと私との面談の時間を持ちました。時間は30分～40分位でしたが話しは弾み、あっという間に過ぎてしまいました。話しの中身は充実していて、たくさんの良い提案などを貰い、有意義な時間でした。

何よりも嬉しかったのは、皆さん全員が戸惑うことなく積極的にお話しをしてくれたことです。そしてたくさんの意見を聞かせてくれました。

面談から出たせつかくの提案や改善は無駄にすることなく、もちろん参考にさせて貰い、実現出来ることから手を付けてゆきます。

このような機会を年に一度は持ちたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

さて、私が社長に就任して早くも3ヶ月が経過します。常に云っていますように、実務は皆さんに任せますので積極的に行い、その結果を私が判断します。任せると云っても**好き勝手にやって下さい**と云うことでは**ありません**ので、このところはわきまえて下さい。常にどうすれば利益が得られるのかを元に判断して下さい。

朝礼でも云いましたが、会社や社長の考えていることを**付度(そんたく)**して、その思いに沿って行動して下さい。このような行動や発言は社長の意図に沿っているのだろうかと自問しながら仕事を進めて下さい。さもないと**面倒なことに私が口出しをする**ことになるでしょう。

しつかりした会社は、誰が社長になっても組織としてうまく進むものです。残念ながらブロンは来年65周年を迎えますが、まだまだそういう会社ではありません。

去る18日(金)に創業100周年の宮木電機様の祝典に列席させて頂きました。その中の社長様のご挨拶に「**製品は人格の片りんをあらわすもの、、、**」とのお話がありました。製品は無機物のかたまりではなく、そこには設計から製造に関わった人達の意図や思いが詰まっている、つまり**製品は会社そのものである**とのことでした。

不良がたくさん出るクレームの多い製品は、会社そのものが不良ということになります。良い製品は良いセールスマンでもあるのです。納期を守る、品質を守る、それだけでも立派にお客様から評価を得ることが出来るのです。

良い会社作りの中の顧客満足は、単なる言葉だけでは済まされないことを感じてくれているでしょうか。**注文が少ない、売上が出来ないの背景には、多分にお客様の意向が含まれている**ことに気が付かなくてははいけません。つらいことです。